

町民の皆様へ

～自分の命は自分で守る～

近年、全国各地においてこれまで経験したことのないような自然災害が発生しており、自然の怖さを改めて思い知らされております。

令和2年7月豪雨では、7月3日から4日にかけて線状降水帯が発生して降り続いた雨は、本町においても2日間で447ミリの降水量を観測し、球磨川と川辺川、鳩胸川が合流する付近ではバックウォーターにより氾濫。小籾川付近では、堤防を越流した濁流が、くま川鉄道を越え、肥後西村駅周辺住宅を襲い、その勢いは、上流にある浜川地区や上下十日市地区、由留木地区などに迫り、多くの家が浸水しました。町全体では、床上68戸、床下76戸の住宅浸水被害をはじめ、道路、林道、河川、農地の冠水など激甚的な被害を受けました。

幸いにしてこの大雨によって人命を奪われるまでの人的被害はなかったものの、今後本町においても、人命を脅かすほどの自然災害に見舞われるかわかりません。

自分の命は自分で守る。自然の猛威をなくすことは不可能であり、今後も自然災害から身を守るために、日頃からの備えと早めの避難が大切です。

今回、町民の皆さまが災害時に的確な避難行動をとるための一助として、新たな『錦町総合防災マップ』を作成しましたので、ご家族や自主防災組織のなかでこの防災マップをしっかりとご活用いただき、平時からの心の準備と防災対策や防災用具等の備えに対し、万全を期していただきますようお願いいたします。



令和3年3月
錦町長 森本 完一

索引

●我が家の「防災・緊急情報」メモ	1	●避難所の利用について	14
●防災対策&チェック	2	●避難所一覧	15
●非常時持ち出し品の準備&チェック	3	●錦町全体図	16・17
●洪水・土砂	4	MAP1	18・19
●風水害・台風	5	MAP2	20・21
●特別警報	6	MAP3	22・23
●ため池	7	MAP4	24・25
●地震	8	MAP5	26・27
●火災	9	MAP6	28・29
●防災対策	10	MAP7	30・31
●自主防災組織	11	MAP8	32・33
●防災に関する知識	12	MAP9	34・35
●応急手当	13	メモ	36・37

発行：錦町（問い合わせ：総務課 0966-38-1111）
制作・著作：株式会社ゼンリン熊本営業所
作成：令和3年3月

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 令元情使、第807-092号）」
出典：人吉盆地断層 千田昇・熊原康博・堤博之・平川一臣・宮原崇裕（2015）1:25,000 活断層図 人吉盆地南縁「人吉盆地」（国土地理院技術資料）をもとに株式会社ゼンリン作成